



【CO₂フリープラン活用事例紹介②】

鶴岡市 様 『ゼロカーボンシティ実現に向けて』

世界的に「脱炭素」が提唱されている今日、弊社のCO₂フリープランを活用し、企業価値や自社製品の価値を高めている企業・団体様を紹介いたします。

第二回目は、ゼロカーボンシティ実現に向けて、ごみ焼却施設で発電した余剰電力にCO₂フリー価値を付加した上で、市内の小中学校等の施設に供給し『電力の地産地消』を実践している鶴岡市様の取り組みを紹介いたします。

2021年4月に『ゼロカーボンシティ宣言』を行った鶴岡市では、同月より稼働を開始した新しい「鶴岡市ごみ焼却施設」でごみ焼却により発生する熱を利用して発電を行っており、施設内で電力を利用するほか、余剰電力は売電し、小中学校など市内の公共施設に供給する「電力の地産地消」に取り組んでいます。当社では、このごみ焼却施設からの余剰電力に「非化石価値」を付加し、「CO₂フリー電力」として鶴岡市内の小中学校等に供給させていただいております。



鶴岡市ごみ焼却施設

当社と契約の小中学校等に
鶴岡市ごみ焼却施設由来の
CO₂フリー電力を供給

1年間で約2,580 tのCO₂
排出を削減

※令和4年度電力使用実績より算出

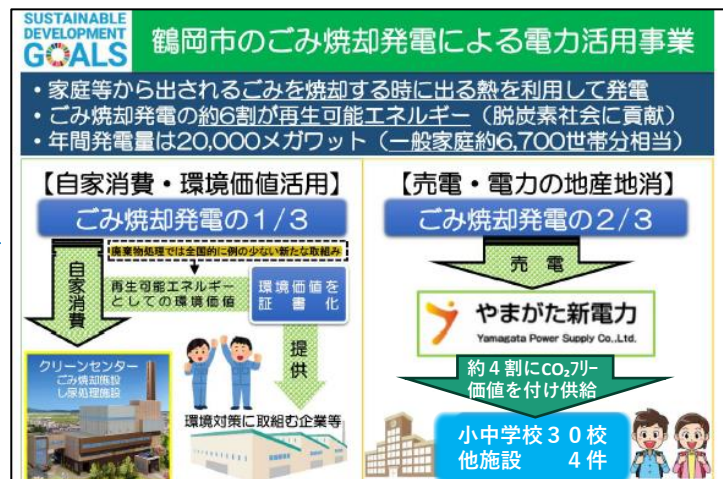
鶴岡市のリサイクルプラザ「くるりん館」では、環境教育に関連したイベ

ントも開催しており、直近では廃油を使ったクラフト教室を開催しました。また、例年『鶴岡市環境フェア』等も開催し、市を挙げて環境問題への関心醸成に取り組んでいます。

鶴岡市では以上のように、ゼロカーボンシティ実現に向けて、市民のみなさまへの環境問題の啓蒙活動を積極的に実施しております。

このように、自治体内にある発電所のCO₂フリーの価値を最大限に活かし、地域の皆様へお使いただくことで、「電気の地産地消」と「ゼロカーボンシティ実現へ向けた取り組み」を同時にお手伝いすることが可能です。ぜひ当社までご相談ください。

鶴岡市ではゼロカーボンシティ宣言に先駆けて、2020年に内閣府より「SDGs未来都市」に選定されています！



2021年度鶴岡市作成「ゼロカーボンシティに向けて」より一部修正